

牛込一中だより

新宿区立牛込第一中学校
令和2年度第8号

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤として、国際的視野に立ち、心豊かな国民を育成する。

- 一 自ら考え、進んで実行する人 (自立)
- 二 思いやりのある情操豊かな人 (共生)
- 三 心身ともに健康で、明朗な人 (健康)

ラストページまで駆け抜けて

校長 福田 忠春

上の言葉は、10月27日から11月9日まで実施されている第74回読書週間の標語です。学校においても朝読書の時間が設定されていますが、最近、図書館や書店で何か興味のひかれる本を実際に手にとりましたか。

最近は様々な書籍が電子化され、ネット上でも読むことができます。しかし、実物の本を読むのと、ネット上で読むことには違いがあるそうです。ネット上で何か読もうとするときは、じっくり向き合うというより、短時間で次へ行こうとするそうです。より面白そうなものへ視線が流れていくため、一つのコンテンツに向き合う時間が短くなるそうです。

2015年発表のマイクロソフト調査によると、2000年から十数年で平均アテンション・スパン(一つのことに集中している時間)は、12秒から8秒に縮まったそうです。金魚のアテンション・スパンは9秒とのことです。如何に短いかが分かります。アテンション・スパンの短縮の要因としては、スマートフォンの普及に伴い、様々な情報にアクセスしたり、SNSで短いやり取りをおこなったりするようになったことが挙げられています。

インターネットやSNSは便利なツールではありますが、実際に読書を行うことで、以下のような効果が得られるようです。是非、この機会に新たな一冊を手に取り、「ラストページまで駆け抜けて」みませんか。

読書の効果

- ストレスが解消される
- 脳が活性化する
- 視野が広がる
- 読解力が高まる
- ボキャブラリーが増える
- 創造力が磨かれる
- 仕事や日常のヒントをもらえる
- 教養が磨かれる
- 知識が増える
- メタ認知能力*が高まる

※メタ認知能力…自身の状態を客観的に把握する能力のこと。メタ認知能力が高いと、ネガティブな感情が湧いてきたときでも冷静に自分を分析し対処することができるといわれています。

スケアード・ストレイト交通安全教室

10月9日（金）にスケアード・ストレイト交通安全教室を実施しました。この「スケアード・ストレイト」という言葉は、「恐怖の直視」を表しています。怖い思いや、ヒヤッとする体験を通じて啓発効果を高める技法を取り入れた交通安全教室です。プロのスタントマンが、目の前でリアルな交通事故を再現してくれました。当日は、残念ながら雨天であったため、体育館で電動バギーや自転車を用いて事故を再現されました。

自転車は、身近で便利な移動手段ではありますが、その分、事故にかかわる関わる可能性は低くありません。自分や周囲の人が、被害者にも加害者にもならないようするため、日常に潜む事故につながる危険性に気付く力を高めていきましょう。そのための視点を、このスケアード・ストレイト交通安全教室で学ぶことができました。



11月の主な予定

- 4日（水） ブラインドサッカー（1年）
教育相談始（3年）
- 6日（金） 租税教室（3年）
地域調べ（1年）
- 7日（土） 土曜授業
ダブルダッチ教室（1・2年）
- 10日（火） 教育相談終（3年）
- 11日（水） 到達度テスト（3年）
- 12日（木） 期末交差1週間前
- 19日（木） 期末考査始
- 21日（土） 土曜授業・期末考査終

入賞おめでとう

<バドミントン部>

新宿区民総合体育大会

【男子シングルス】

優勝 2年 ○○ ○○

【女子シングルス】

優勝 2年 ○○ ○○

第3位 2年 ○○ ○○

<バスケットボール部>

新宿区民総合体育大会

【バスケットボールの部】

第3位 2年 ○○ ○○

2年 ○○ ○○

2年 ○○ ○○

1年 ○○ ○○

1年 ○○ ○○

1年 ○○ ○○

1年 ○○ ○○



10月14日（水）
落ち葉掃き活動

生徒有志と先生方で学校
周辺の美化活動を行いました。